

令和 6 年 3 月 13 日

福島大学地域未来デザインセンターと福島刑務所は 包括連携協定を締結します

福島大学地域未来デザインセンターと福島刑務所は相互の知見や経験を共有し、再犯防止の推進と地域共生社会の実現を目指す取組みを進めるため、包括連携協定を締結します。

これに関連し、福島大学地域未来デザインセンターにて、3月18日（月）に協定締結式と公開シンポジウムを開催します。

2022年の刑法改正や2023年の第2次再犯防止推進計画により、犯罪をした者等の改善更生に向けて国、地方公共団体、市民が一丸となった取組みが求められています。また、人口減少や少子高齢化に伴う地域経済やコミュニティの衰退を受け、多様な人々がそれぞれに活躍し、支え合う地域共生社会の実現が社会福祉における喫緊の課題となっています。こうした社会情勢の下では、大学や刑務所も地域の一資源として、自らの知見や経験を社会に還元し、犯罪をした者等をも包摂する地域共生社会の実現に寄与する姿勢が不可欠です。

こうした背景から、福島大学地域未来デザインセンターでは公募プロジェクトの1つとして「福島発・立ち直りの6次化プロジェクト」を採択し、同プロジェクトを推進するため、福島刑務所との間で包括連携協定を締結します。

この協定締結に関して、下記の通り、協定締結式と公開シンポジウムをおこないます。公開シンポジウムについて広報していただくとともに、当日の様子を報じていただければ幸いです。

【日時】2024年3月18日（月）13時30分～15時45分

【場所】福島大学地域未来デザインセンター 2階イノベーションコモンズ

【当日の流れ】

13時30分～14時05分：協定締結式

協定の趣旨説明の後、福島大学地域未来デザインセンター長と福島刑務所長による協定書の手交と写真撮影を行います。

※式後半に10分程度、記者質問の時間を設ける予定です。

14時15分～15時50分：協定締結記念公開シンポジウム

刑務所と大学との連携による取組みの可能性について、話題提供と質疑を行います。

<進行>高橋有紀（行政政策学類・准教授）

<話題提供（話題提供者）>

喜連川社会復帰促進センター「自然観察プロジェクト」について

（難波謙二・共生システム理工学類教授、黒沢高秀・同教授）

刑事政策ゼミによる「福島大学矯正展」について

（高橋有紀・行政政策学類准教授）

社会貢献作業による美術棟備品の修繕活動について

（渡邊晃一・人間発達文化学類教授）

福島刑務所による修繕備品、刑務作業製品贈呈

※シンポジウム後半に 25 分程度、記者質問も含むフロアからの質疑の時間を設ける予定です。

【その他】

- ・チラシを別添しておりますので、適宜ご活用ください。
- ・公開シンポジウムの開催について、福島県庁及び県内の市町村、福島刑務所、福島保護観察所などに案内状を送付するとともに、学内でも広報しており、関係者が来場する可能性があります。

（お問い合わせ先）

行政政策学類・准教授 高橋有紀

電 話：090-5033-9296

メール：y-takahashi@ads.fukushima-u.ac.jp

福島大学地域未来デザインセンター×福島刑務所
包括連携協定締結記念

公開シンポジウム

入場無料、事前申込み不要

- 日時：2024年3月18日（月）14時15分～15時45分
- 場所：福島大学地域未来デザインセンター2階
イノベーション commons
(学校臨床支援センターと同じ建物です)
- 話題提供：
 - (1)喜連川社会復帰促進センター「ハナヤスリプロジェクト」について（黒沢高秀・共生システム理工学類教授、難波謙二・同教授）
 - (2)刑事政策ゼミ「福島大学矯正展」について（高橋有紀・行政政策学類准教授）
 - (3)福島刑務所社会貢献作業による本学備品修繕について（渡邊晃一・人間発達文化学類教授）
 - (4)福島刑務所による修繕備品、刑務作業製品贈呈
(進行：高橋有紀)

「刑務所×地方創生」「立ち直り×共生社会」に関心のある研究者・学生、自治体関係者、企業・NPO、報道機関、市民など様々な皆様のご参加をお待ちしています！

主催：福島大学地域未来デザインセンター「福島発・立ち直りの6次化プロジェクト」（代表：行政政策学類・高橋有紀）
お問合せ：高橋有紀（y-takahashi@ads.fukushima-u.ac.jp）